

月刊 地球基地

今月のごあいさつ



こんにちは、アースベースのノザワです。木々が彩付くヒマも無く、あつという間に冬です。余韻として『秋』として言っているのがかえって感傷的です。しみじみ。

年末年始の準備は大丈夫でしょうか？なぜ11月号でこれをいうのかというと、たぶんこれが届くのは12月だからです。はたして12月号はどうなるのでしょうか？わかりません(笑)。

11月で記念日や特徴などをあげると、イメージがまったく湧きませんね。で、唯一閃くのが11月11日。いろいろ調べてみるとなかなか根深い。その一部をご紹介します。

「ポッキープリッツの日（お馴染みですね）」「もやしの日」「キリタンポの日」「麺の日」「箸の日」「煙突の日」「コンセントの日」など1にシルエットが似ている日にあやかっただけです。「コピーライターの日」というのはペンの形だとか。「折り紙の日」は1が四辺で折り紙みたいな正方形（□）になるから。キリ

がないですね。「鏡の日」は11と書くと左右対象だから。「サッカーの日」は11vs11でプレイするから（なるほど）。「乾電池の日」「磁気の日」は感度で十一と書くとプラスマイナスに見えるから。「鮭の日」は鮭のつくり、圭の字が十一の組み合わせだから。…などなど、適当に見繕ってもこんなになりました。

「11」関係ばかりなので、無垢なものはないかとさらに腰を据えたら、こんな日を発見。『世界平和記念日』。1918年のこの日に、世界各地で戦争関係の平和式典や調印式があったそうです。もやしとか磁気とか鮭とかより、こういうのをPRするべきとの気もしますねえ。まだまだありますので、お好きな方は是非ググってみてください。きっと辿り着く答えは同じですよ。“なんでもありかいな”って。

生命の用心

アスベのあるテクノタウンで合同火災訓練が行なわれました。消防署から選ばれた精鋭(?)四名がテクノタウンに在を置く方々に沢山《もしも》対策を指南していただきました。

・火災訓練——基本的な消火器の使い方。ピンをはずし、ホースの狙いを炎の根元に向かって噴射。この時『火事だ〜!!』と叫んで、危険を周りに促すのがポイントです。代表数名が実践。この時署員さんに水をかけてしまうもの有り。(アスベの者です。スママセン…)

・AED訓練——街中の要所に設置してあります心臓電気ショックマシンの使い方実践。要救護者を見つけたらまず声を出します。一番に見つけた方とはにかく遠慮せずガンガン仕切ってよいそうです。『あなたは救急車を呼んでください』『あなたはAEDを持ってきて下さい』！この時「誰か呼んでください」ではなく、「あなた」と指名するのが大切なのだとか。1秒でも早く急病人を助けるためです。この時一旦AEDを渡された者（AEDを持ってくる役目だったため）がそのまま持ち帰ってしまうハプニング有り。(アスベの者です。ゴメンナサイ…)

二つのことに共通していることはまず知識を得ておく事。そして“いざ”という時に備えておくと言う事。声をかけて、迫りくる『生命の危機』を打破しよう、させようということ。

その昔の人は火事があると「お騒々しいこって」という言葉とともに、お見舞いに行ったとのこと。これは焼類を防ぐためと、ご近所さん同士の連携を深めてこれから火事を「出さない出させない」という想いを強くさせるために寄りあったのではないかと解釈しています。コミュニケーションが希薄な時代、スマホやSNSでは伝えられない大切な何かを今回教わったようにも思います。そんな使命を帯びた消防署の方々へ、たいへんな感謝を送ります。

…余談。この講習は粋な計らいでペットボトルのお茶か缶コーヒーのおまけつき。こりゃありがたい…と思ひ、缶コーヒーを貰おうと近寄ったら…

私「いやいや、火災訓練で“FIRE”って!!」 関係者「ナイスツッコミ!!」





産業ときめきフェア 2016 ～明日の為に～

11月18日、当アースベースブースは平たかった。不特定多数の来場者に見え、知ってほしい看板やボードは人ではなくて天井に向けられていたのです。こっちを向いているものといえば、誰が作ったか、にぎやかしのダンボールのロビ〇マスクとウォ〇ズマンくらい（勝手に作ったのであしからず…）。せっかくの祭典も、フルに活用しなくてははいけません。ボードを飾るには坂道に限る…という事でようやく 2D から 2.5D に。少しは良くなった…？

『産業ときめきフェア in EDOGAWA』は年に一度タワーホール船堀で開かれる催しで、江戸川区の多種多様なジャンルからなる“技術”の“参集”です。

実はこの期間、当所は忙しく、これにあまり時間はかけられませんでした。だからなのか、そのわりにはなのか、今回の目玉がなんと加工施工などに使った端材！反射シールとスチロールボードを格安で売る、というものです。品質には問題はなし。しかしどうしても余って



しまうので、素麺や挽肉の要領で、皆さんに還元しようと考えたのです。開始当初は決めた金額で売っていましたが、やがて無料で配るようになり、反射シールは無事無くなりました（お金を出してくれた方、ごめんなさい！）。

このような場合は『見せ方（魅せ方）』が鍵になってきます。慣れている方々は目立つ機材や道具でアピールしてきます。どうやって搬入したか、巨大な冷蔵庫をどんと置いていたり、缶を潰せるエアロバイクに社長さん自らライドオンしたり、サックスを目の前で直していたり。あるいは麦茶を配ったり、巨大なプロペラ（発電機）を持ちこんだり。

また、前回とは同じ顔ぶれもいる中、初めて見る顔もあり、さらに交流が濃くなったと思われまます。

このようにして発展していった日本の技術。クールジャパンなどを世界に向けて発信するに当たって、決して目を背けてはいけないものでしょう。

下町ってやや日陰に見られがちです。確かに地味で目立たない事が多い。ですけど、ものすごく強くて、熱い物を持っている気がするのです。このような催しは、それを間近に見て取れる、とても素敵なの所なのです。

結果として今回は『売り方』を学びました。次回も出展できるなら、これらの反省を生かして、うまく魅せて、明日の技術に貢献したいものですね。

産業とはなんのでしょうか？辞書でひけば、それらしいものがでてきますが、何か別の物があるような気がします。ではその“別の何か”とは何でしょうか？言葉などではどうも表現できませんし、むずむず不思議な感覚のものでしたが…ここに来て、見て、出してなんとなくわかったような気がします。

もし来年度も参加させていただけたら幸いです。その時にどんな『魅せ方』をしようか、答えを考えておきます。



編集後記

11月は祝日こそあれ、あまりイベントごとがないのは、いよいよ迫る師走の為の準備期間なのではないかと思えます。天候不順や震災、身近な所では野菜などの値上げなどで我々の生活を困窮し、54年振りの雪がちらつきましたが、負けずに年末を迎えられたらと思えます。皆様も気を付けてください。

【月刊地球基地】 発行人：一般社団法人 EARTH BASE
 健全者と障がい者が一緒になってサイン・看板を製作しています。

〒132-0034 東京都江戸川区小松川 3-2-1 テクノタウン 306

TEL : 03-5875-5941

FAX : 03-5875-5942

mail : info@earth-b.jp

URL : <http://www.earth-b.or.jp/>